Gastro-Health Now

特定非営利活動法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
Non Profitable Organization
Japan Research Foundation of Prediction,
Diagnosis and Therapy for Gastric Cancer (JRF PDT GC)

目　次

◆ 世界初の経鼻内視鏡専用検診車の活動報告 ……1
◆ Topics ・最新文献紹介 ……3
◆ あとがき ……4

印刷　城南印刷工芸(株) 03-3752-3391

発行所　特定非営利活動法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
〒108-0072
東京都港区白金1丁目17番2号
白金タワーテラス棟604号室
電話　03-3448-1077
FAX　03-3448-1078
E-mail : info@gastro-health-now.org
http://www.gastro-health-now.org

2012.4.1
第20号

世界初の経鼻内視鏡専用検診車の活動報告

～一次検診・出張型人間ドックからABC検診の二次検査まで～

当院での経鼻内視鏡検査の現状と世界初の経鼻内視鏡検診車導入

池田病院・附属健康管理センター
副院長　外科・内視鏡科
池　田　　聡

楽で安全な経鼻内視鏡検査（以下経鼻）は上部消化管スクリーニングに大変有用であり、クリニックを中心に医療施設や検診・人間ドック施設にも広く普及している。当院では2005年に導入、2011年10月までに25,000症例以上を経験し、安全性と有効性を確認している。当初より経口・経鼻・バリウムから費用は同額、検査枠上限を設けず自己選択制としている。経鼻の希望者は年々増加し、2010年にはドック受診者の81.6％が経鼻を選択、施行された。院内全体では年間5,500症例のうち91％が経鼻を選択。精度はスクリーニングでの病変発見率が経口と比較して同等。また導入後3年間のスクリーニング7,664例の検討で、胃がん発見率は0.18%であった。また2007年はドック2,200例の経鼻受診者のうち4例の早期胃癌を発見、その全てが内視鏡的粘膜剥離術（ESD）にて治療可能だった。まさに“スクリーニングは経鼻、治療は経口”である。鎮静剤・鎮痙剤を使用せずに行える経鼻は検査後の行動に制約なく、リスクマネジメントにも優れているため検診・ドックなどの検査として最適である。偶発症も軽度の鼻出血で2％、経鼻挿入不可能症例は1.5％であった。“楽で安全な経鼻を1人でも多くの方に受けて頂きたい”と考え、当院では15年前に当院院長が行っていた経口内視鏡を用いた事業所への出張内視鏡検診の経験と、当時のFTS社・宇田川哲夫社長にお願いし実現した世界初の経鼻検診車により内視鏡検診が可能となった。平成20年10月から市販第一号の経鼻内視鏡検診車（富士フィルム社製）を導入（Fig 1）。事業所側のニーズに応え内視鏡検診は好評で、無症状のESD可能な早期がん発見症例もあった。また活動型胃潰瘍、胃腺腫、胃アニサキス（そのまま鉗子で虫体摘出）など様々な病変・疾患が早期発見された（Fig 2）。検査の対象の殆どは院外検診での協会けんぽ生活習慣病検診のバリウムに替えての内視鏡検査として行っている。また内視鏡を取り入れた出張型人間ドックも実施している（Fig 3）。経鼻検診車導入から3年間で延べ110事業所2,800名の方に事故

Fig 1 世界初、池田病院に導入した経鼻内視鏡専用検診車

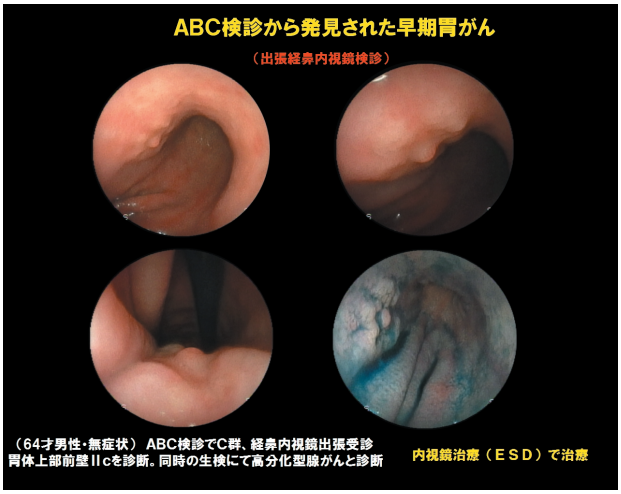

Fig 4 ABC検診と経鼻内視鏡検診車（二次検査）併用にて発見された早期胃癌症例

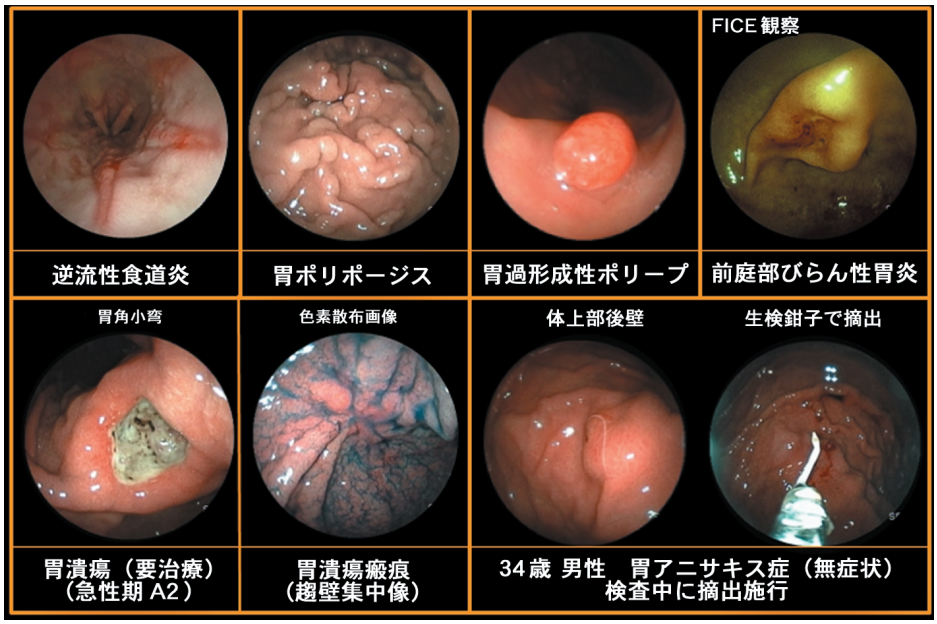

Fig 2 経鼻内視鏡検診車にて病変発見例画像

Fig 3 経鼻内視鏡検診車を用いた出張型人間ドック

なく安全に実施した。

内視鏡検診車を用いたABC検診の出張二次内視鏡検査の実際

経鼻検診車に20本の細経内視鏡スコープを積載し事業所に赴き、あらかじめ健保組合と契約し生検可能な状況で、二次検査としての内視鏡検査を行った。1,700人規模の事業所の検診対象者に、ABC検診を行い（1,098名）、内視鏡検診対象者としてC・D群（126名）に検診車で二次検査を行った。そのうちD群1名（64歳男性）に胃体上部前壁のIIc病変を認め同時の生検にて高分化型腺がんを診断。2カ月以内にESDにて治療された（Fig 4）。この方法は胃がんの危険群を抽出し直ちに検診車で事業所にて内視鏡検査をすることになるため、効率的には良い方法で，事業所側のメリットとして二次検査受診率が上がり対象社員の一元管理が可能となる。当方とすれば、検診対象のすべての方に経鼻検査を受けて頂きたいのだが、内視鏡医・スタッフのマンパワー、コスト、生検の問題などもあり、年齢やABC検診などで対象を集約せねばならない。

本邦に罹患率が高く死亡者数の多い胃がん（年間5万人以上の死亡）は早期発見されれば内視鏡治療という侵襲の少ない治療の選択肢が得られる。胃がんが心配で内視鏡受診の必要性は感じていても多忙で医療施設に行けない方々に対し、出張検診車では職場にて楽で安全、精度の高い内視鏡検査を提供できる。我々医療スタッフは胃がん死を撲滅する決意・熱意をもって、内視鏡検診を行っていくべきと考えている。

TOPICS

各種メディアでも、胃がんのリスク別 A,B,C,D 胃炎検診（ABC検診）、ピロリ菌除菌が取り上げられています

1. 健康と良い友だち　３月号（2012年３月１日）第195号：１頁
新しい胃がんリスク検診「ABC検診」でがん撲滅へ

最新文献紹介

1. M Dinis-Ribeiro, *et al.* : Management of precancerous conditions and lesions in the stomach (MAPS) : fuideline from the European Society of Gastrointestinal Endoscopy (ESGE), European Helicobacter Study Group (EHSG), European Society of Pathology (ESP) and Sociedade Portuguesa de Endoscopia Digestiva (SPED). Endoscopy 2012 ; 44 : 74-94
2. R Lomba-Viana, *et al.* : Serum pepsinogen test for early detection of gastric cancer in a European Country. Eur J Gastroenterol Hepatol 2011 ; 24 : 37-41
3. T Akamatsu, *et al.* : Introducation of an examination and treatment for *Helicobacter pylori* infection in high school health screening. J Gastroenterol 2011 ; 46 : 1353-1360
4. A M Cliodna, *et al.* : Diagnosis of *Helicobacter pylori* Infection. Helicobacter 2011 ; 16(Suppl. 1) : 10-18.
5. T Matsuo, *et al.* : Low Prevalence of *Helicobacter pylori*-negative Gastric Cancer among Japanese. Helicobacter 2011 ; 16 : 415-419
6. H Kishikawa, *et al.* : Fasting Gastric ph of Japanese Subjects Stratfield by IgG Concentration Against *Helicobacter pylori* and Pepsinogen Status. Helicobacter 2011 ; 16 : 427-433
7. H F Chiu, *et al.* : Statins are associated with a reduced risk of gastric cancer : A population-based case-control study. Am J Gastroenterol 2011 ; 106 : 2098-2103
8. 浅香正博：わが国から胃がんを撲滅するための具体的戦略．日医雑誌 2012 ; 140 : 2133-2137
9. 水野元夫、他：*Helicobacter pylori* 除菌による胃癌予防の現状と展望．日消誌 2012 ; 109 : 30-36
10. 一瀬雅夫：*H. pylori* 胃炎からの発癌―除菌有効性を巡っての視点　巻頭言．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 267-268
11. 菊池正悟：*H. pylori* 除菌による胃癌発生予防　*H. pylori* 除菌による胃がん予防のこれまでと我が国の今後の胃がん対策．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 269-275
12. 加藤元嗣、他：臨床における除菌療法の現状と今後の展望．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 277-283
13. 水野元夫、他：除菌後発生胃癌　長期追跡の結果から．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 317-322
14. 佐藤祐一、他：早期胃癌内視鏡治療後除菌症例における発生胃癌　内視鏡所見・病理的特徴を巡って．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 323-328
15. 前畠裕司、他：早期胃癌内視鏡治療後除菌症例における発生胃癌　除菌による異時性発癌予防効果を巡って．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 329-336

16 安藤貴文、他：胃切除後残胃に対する除菌の異時性他発癌発生予防効果．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 337-342

17 前北隆雄、他：除菌療法と胃癌発生抑制効果―対象集約のための客観的指標．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 343-350

18 鼻岡　昇、他：Autofluorescence Imaging (AFI)による除菌後異時性多発癌発生のリスク評価．臨牀消化器内科 2012 ; 27 : 357-364

19 乾　純和、他：わが国の胃癌対策について―その現状と将来展望―．The GI FOREFRONT 2012 ; 7 : 23-27

20 井上和彦：ABC分類（胃の‘健康度’評価、胃がんリスク診断）の基本と問題点．日本ヘリコバクター学会誌 2011 ; 13 : 64-68

21 坊岡美奈、他：小児期の *Helicobacter pylori* 感染経路に関する検討．日本ヘリコバクター学会誌 2011 ; 13 : 86-90

22 古田隆久、他：血清ペプシノゲンによる *H. pylori* 除菌判定．日本ヘリコバクター学会誌 2011 ; 13 : 69-75

23 大和田進、他：内視鏡ABC分類．*Helicobacter Research* 2011 ; 15 : 79-80

あとがき

先日古い８ミリフィルムをDVDに変換するサービスを利用しました。昔の家や街、そして若い頃の家族の姿がテレビ画面によみがえり、「三丁目の夕日」の気分でした。

昭和30年代にレントゲンによる胃がん検診車が開発され、企業や公民館へ巡回検診ができるようになり、胃がん検診は急速に普及しました。今回、池田病院の経鼻内視鏡検診車による胃がん検診のレポートを拝読し、かつてのエネルギーに満ち溢れていたレントゲン胃がん検診が、経鼻内視鏡になってよみがえったような気持ちになりました。巡回の内視鏡検診を実現するには、スコープの本数の確保や内視鏡洗浄機の問題など、解決しなくてはならない問題がたくさんありますが、かつてのフィルムメーカーが内視鏡検診を支えてくれることに期待します。

3月1日、厚生労働省のがん対策推進協議会（座長：門田守人・がん研有明病院院長）は「がん対策推進基本計画」の変更案を答申しました。今回の基本計画（変更案）では、がんの原因となるウイルスや細菌への感染として、子宮頸がんの発がんと関連するヒトパピローマウイルス、肝がんと関連する肝炎ウイルス、ＡＴＬと関連するヒトＴ細胞白血病ウイルス１型と並んで「胃がんと関連するヘリコバクター・ピロリ」が加わり、取り組むべき施策としても、「ヘリコバクター・ピロリについては、除菌の有用性について内外の知見をもとに検討する」という内容が盛り込まれました。われわれの主張がようやく届き始めたと確信するとともに、新しい胃がん対策の普及に向けて志を新たにいたしました。新年度も引き続きご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。　（三木）

事務局より　お知らせ

■ 平成２４年度会費納入のお願い

年度が改まりましたので会費の納入をお願いいたします。今年度も新しい胃がん対策の普及に向けて努めてまいります。みなさまの変わらぬご支援ご協力を何卒お願い申し上げます。

【会費】平成24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）
個人会員　1口3,000円1口以上　　法人会員　1口30,000円1口以上

お振込み先　＊三菱東京ＵＦＪ銀行 目黒駅前支店　普通預金 No. 0008527
特定非営利活動法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構 理事長 三木 一正
＊郵便振替　00130-9-429200 日本胃がん予知・診断・治療研究機構

☆お振込の際、ご親族・職場等、複数の会員様でまとめる場合は、お手数ですが払込取扱票の通信欄に会員全員のお名前をご記入下さい。

■ 転居・所属変更・会員種別変更希望・退会希望等は、お早めに電話・FAX・メールにて事務局までお知らせ下さい。

■ 本誌バックナンバーは、インターネット上でご覧いただくことができます。http://www.gastro-health-now.org

寄付者名簿

（自2011年11月～至2012年3月）（敬称略・五十音順）

赤羽根　巌、秋守　雅文、遠藤　高夫、岡野　直樹、掛村　忠義、小宮山　忠雄、瀬尾　研一、高崎市医師会、綱島　武彦、中川　和彦、半下石　美佐子、平澤　俊明、村島　義男